

令和2年(2020年)2月28日

報道機関各位

## クレジットカードの不正利用防止対策とIC化の取組み状況について

一般社団法人日本クレジット協会

一般社団法人日本クレジット協会(会長 山本 豊)では、クレジットカードの「安全・安心」な取引環境を確保するため、ネット取引における本人認証の推進やクレジットカード情報の流出を防ぐためのカード情報保護強化策の推進等、様々な不正利用防止策を講じております。

この一環としてクレジットカードのIC化率を「2020年3月末までに100%を目指す」という目標を掲げ、業界を挙げて推進に努めております。

2019年12月末時点で、クレジットカードのIC化の進捗状況を調べたところ、協会加盟のカード会社258社(調査対象会社235社)のうち、IC化を100%達成している会社が137社であり、調査対象会社の総発行枚数に占めるクレジットカードのIC化の割合は95.1%となります。

また、目標の期限となる2020年3月末時点での推計値は99.5%となりました。

この状況から、社会で流通しているクレジットカードのほとんどはIC化されたと想定されるため、今後は、消費者に対するIC取引の認知度向上や加盟店におけるIC取引の推進を図る等、IC化を通じた安全・安心なクレジットカード取引環境の構築に取り組んで参ります。

なお、IC化100%を達成できていないカード会社においては、引き続き、100%を目指してそれぞれの対応に努めていきます。

クレジット業界の取組み状況について広くご理解いただきたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

### ※ 調査に係る注釈

- (1) 調査の実施主体：(一社)日本クレジット協会
- (2) 調査対象会社：協会加盟しているカード会社258社のうち国際ブランド付のクレジットカードを発行している235社
- (3) 調査対象とするICクレジットカード：国際基準である「EMV仕様」の接触型及び非接触型ICチップを搭載したクレジットカード

### ○本件問い合わせ先

一般社団法人日本クレジット協会 セキュリティ対策推進センター  
〒103-0016 中央区日本橋小網町14番1号 住生日本橋小網町ビル  
TEL 03-5643-0011

以上

投稿先：東商記者クラブ・日銀記者クラブ